

1. 基本情報

評価対象年度 ( 令和4 年度)

施策コード	332	施策名	誕生から就労に至るまでの総合的な相談体制の整備
将来像	3	子どもたちを健やかに育むまち(「人づくり」の分野)	
まちづくりの基本目標	33	青少年や若者が希望や夢を持つことができるまち	
主担当部	教育部	主担当課	教育指導課

2. 施策の方向

10年後の姿	誕生から就労に至るまでの子育て、教育、生き方にかかわる継続的な相談体制と、関係諸機関との連携・協働が確立され、相談者の悩みに総合的に対応しています。		
施策の方向性	1	誕生から就労に至るまでの相談を受けつける次世代型の相談センターを設置します	
	2	一貫した支援体制の構築をめざします	

3. 構成事業の状況

(単位:千円)

事務事業名	施策の方向性	担当課	令和4年度決算額
子ども家庭支援センター事業	1, 2	子ども家庭支援センター	109,851
母子保健事業(ネウボラ事業)	1, 2	子育て支援課	36,918
健康センター大規模改修事業	1, 2	健康推進課 建築管財課	913,768
教育支援センター運営管理事業	1, 2	教育指導課	7,169
総事業費(施策の合計)			1,067,706

4. まちづくり指標

指標情報				令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
①	名称	誕生から就労に至るまでの悩みごとを相談できる体制が充実していると思う人の割合		目標値	15.0	15.0	17.0	17.0	
	説明	—	単位 %	実績値	16.2(※1)	16.2(※1)			
	抽出方法	市政世論調査(令和2、5、8年度実施)		達成率	108.0%	108.0%			
②	名称	不登校出現率		目標値	小学校 1.20 中学校 4.30	小学校 1.20 中学校 4.30	小学校 0.90 中学校 4.00	小学校 0.80 中学校 3.70	小学校 0.70 中学校 3.50
	説明	—	単位 %	実績値	小学校 1.85 中学校 5.96	—※2			
	抽出方法	児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査		達成率	小学校 64.8% 中学校 72.1%	—※2			

※1 ①抽出方法が世論調査のため、令和2年度の実績を記載している。  
 ※2 令和5年7月現在、正式な数値が出ていないため、空欄となっている。

5. 評価(令和4年度実績に対する)

評価基準	評価※	評価理由
投入財源・成果(「3. 構成事業の状況」「4. まちづくり指標」)に対する評価	順調	<ul style="list-style-type: none"> <li>●相談体制を一歩化させるため、しあわせ未来センター内に子ども家庭支援センター、子育て支援課(母子保健係)、教育相談センターが移転する準備を進めた。</li> <li>●ヤングケアラー支援について、令和4年度から一部学年でのアンケートを実施した。</li> <li>●しあわせ未来センターに、フレンドルームや教育相談室が一体的に設置されることで、不登校及び不登校傾向の児童・生徒への支援体制の充実にもつながった。</li> </ul>

※順調「10年後の達成に向け」、「構成事業の状況」や「まちづくり指標」の進捗が順調に推移している  
 維持「10年後の達成に向け」、「構成事業の状況」や「まちづくり指標」の進捗に一部課題がある  
 停滞「10年後の達成に向け」、「構成事業の状況」や「まちづくり指標」の進捗が遅れている

6. 施策を取り巻く環境

令和4年度からの変更点	しあわせ未来センター内に関係部署が移転し、令和5年5月から運営を開始した。関係各課が連携し、相談者への支援が充実することが期待されている。
-------------	---

7. 施策を進める上での課題

①	施策を進める上での課題 課題に対する令和6年度以降の取組	しあわせ未来センター内に移転し運営を開始したが、個別ケースの連携にとどまっている。部署間連携を進めるための仕組み作りが必要。 しあわせ未来センター内に関係所管による一貫した支援体制のための連絡会を開催する。
②	施策を進める上での課題 課題に対する令和6年度以降の取組	市内小学校、中学校のヤングケアラーの実態が把握できていない。 授業内で、ヤングケアラーについての説明と、Logoフォーム等を活用したアンケート調査の検討・実施をする。
③	施策を進める上での課題 課題に対する令和6年度以降の取組	教育支援センター(フレンドルーム)の教育の充実に努める必要がある。 通室する児童・生徒が、自分で課題を決めて学習に取り組む機会を保障するなど、支援方法を工夫改善しながら、学習や集団生活に対する意欲・関心を高めていく必要がある。